

水草研究会会報

44号 (1991年8月)



Bulletin of Water Plant Society, Japan

No. 44 (Aug. 1991)

水草研究会

— 目 次 —

大野睦子 : 北九州市でみられるノタヌキモ・イトタヌキモの生活史	1
桜井善雄・芋木新一郎・田代清文 : 湖岸・河岸帯の植栽時における 土壌侵食防止材料の検討 (第2報)	9
原口 昭 : 深泥池浮島に生育するミツガシワ (<i>Menyanthes trifoliata</i> L.) の 種子生産について	15
外山雅寛 : 北海道のミズバショウの分布と現況	22
短報 外山雅寛 : 北海道のエゾノミズタデの新産地	24
外山雅寛 : オオバナイトタヌキモの北海道現況	25
嶋田直哉 : 岐阜県南濃町におけるオニバスの現況	25
尾崎富衛 : ニューゼaland産 Potamogeton の一品	26
南 敦 : 柳井市の葉身・葉鞘に余り細毛のない チクゴスズメノヒエ	27
南 敦 : 柳井市に八重咲きアヤメ	28
角野康郎 : 北海道におけるエゾノミズタデの一産地	28
文献リスト, 他	

〔表紙写真〕

ノタヌキモの種子が果実の胎座についてそのまま発芽し、離れていく様子が写っている。タヌキモ類には根はないのか、いったいどれが子葉にあたるのか、そして茎は…、と形態学者の関心もさることながら、ノタヌキモの一生が、野外ではよほど注意をしていないかぎり気づくことのないこのような姿から始まるという事実は、一層興味深いことではなからうか。水草の一生はまだまだ未解明の問題が多い。本誌1～8頁の報告と合わせて御覧いただきたい。

(写真: 大野睦子、文: 角野康郎)